

2020 年度 次世代陸モデル開発・応用・社会実装に関する合同ワークショップ

日時：2021 年 3 月 30 日（火）9:30–18:30

会場：オンライン

URL：

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/99046382344?pwd=VIV4YTR5VVJJdTVFSk9pZ0ovQjdIU09>

※開始時刻の 30 分前（9:00）からお繋ぎいただけます

Slack：https://join.slack.com/t/w1615970729-90s113095/shared_invite/zt-nu66dacz~UaZKyX_5_X2HwSHJZsX0A

発表後の議論の場としての Slack によるチャットスペースです

検討会プログラム（敬称略）

9:30–9:40 趣旨説明

芳村圭（東京大学 生産技術研究所）

第一セッション（9:40–11:40, 司会：鳩野美佐子）

9:40–10:00 ILS 開発の進捗

新田友子（東京大学 生産技術研究所）

10:00–10:20 ILS の結合インターフェース

荒川隆（高度情報科学技術研究機構）

10:20–10:40 球面格子変換テーブル生成パッケージの開発

竹島滉（東京大学 大学院工学系研究科）

10:40–11:00 気象庁全球数値予報システムにおける陸面解析の最新の開発状況について

宮岡健吾（気象庁 情報基盤部 数値予報課）

11:00–11:20 東大陸モデルグループの最近の取り組み

芳村圭（東京大学 生産技術研究所）

11:20–11:40 ILS を用いた全球土砂動態モデルの開発

鳩野美佐子（広島大学）

11:40–12:50 休憩

第二セッション（12:50–14:30, 司会：徳田大輔）

12:50–13:10 全球水資源モデル H08 の九州への適用

花崎直太（国立環境研究所）

- 13:10－13:30 河川・湖沼を結合した水熱動態モデルの開発
徳田大輔（東京大学 生産技術研究所）
- 13:30－13:50 地下水流動モデルの ILS への結合に向けて
三浦陽介（一般財団法人 気象業務支援センター）
- 13:50－14:10 都市キャノピーモデルの開発と応用研究
高根雄也（産業技術総合研究所）
- 14:10－14:30 CaMa-Flood のコミュニティモデル化に向けた取り組み
山崎大（東京大学 生産技術研究所）
- 14:30－14:40 休憩

第三セッション（14:40－16:20, 司会：横畠徳太）

- 14:40－15:00 陸面過程モデル MATSIRO における流出過小バイアスの低減に向けた流出感度調査
高田久美子（麻布大学）
- 15:00－15:20 地球システム統合モデル MIROC-INTEG-ES による地球-人間システム相互作用の研究
横畠徳太（国立環境研究所）
- 15:20－15:40 陸モデルの初期条件・境界条件としての森林・土地被覆の動態
奈佐原顕郎（筑波大学）
- 15:40－16:00 アジアの人間活動から生じる炭素放出エミッションインベントリ作成
竹内渉（東京大学 生産技術研究所）
- 16:00－16:20 CMIP6 モデルで推定された土壌炭素量とその変化
伊藤昭彦（国立環境研究所）
- 16:20－16:40 休憩

第四セッション（16:40－18:00, 司会：大沼友貴彦）

- 16:40－17:00 全球雪氷藻類モデル Bio-MATSIRO の紹介
大沼友貴彦（東京大学 生産技術研究所）
- 17:00－17:20 氷床結合 GCM の計画および MATSIRO を用いた高解像度グリーンランド実験

大石龍太（東京大学 大気海洋研究所）

17:20－17:40 機械学習による降水プロダクトのバイアス補正およびダウンスケーリング手法の開発と応用

吉兼隆生（東京大学 生産技術研究所）

17:40－18:00 ILS への大気環境の健康影響関数の実装に向けて：疫学知見の利用と課題
上田佳代（京都大学）

18:00－ 総合討論（司会：芳村圭）

協賛

- ・文部科学省 統合的気候モデル高度化研究プログラム
- ・文部科学省 北極域研究加速プロジェクト
- ・科学研究費補助金 特別推進研究 グローバル水文学の新展開
- ・環境省環境研究総合推進費 S-20
- ・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP） 国家レジリエンス（防災・減災）の強化